



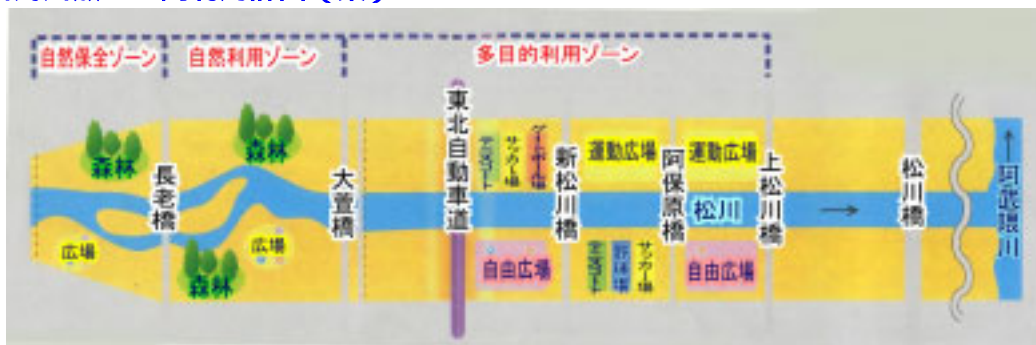
松川流路工特集 (part2)

松川流路工は、水害等から市民を守る目的で、現在、整備が進められていますが、それと同時に、**人々の憩いの場** としての役割を果たすことが求められています。

松川の水辺にある松林などの緑の景観は、地域の住民に大変親しまれており、住宅地に近いことから、散策の利用が特に多いことが特徴です。

また、ゲートボール、芋煮会、デイキャンプ等の、河原や運動場を利用した溪流利用も行われています。これらの現状をふまえて、松川河川敷の空間利用計画が立てられています。

松川河川敷の空間利用計画（案）



- 自然保全ゾーン** ... 自然の改変は最小限にとどめ、自然公園ないし森林公園的な利用を図ります。
- 自然利用ゾーン** ... 既存の自然を利用し、デイライトキャンプ場、自転車道等を配置します。
- 多目的利用ゾーン** ... 全体をスポーツ、イベントのためのスペースとして、整備します。



現在の松川付近の様子



松川流路工イメージ図

トピックス



9月18日に庭塚小学校の2年生2人と1年生1人の計3人が、**高湯第一堰堤** の現場見学に訪れました。一人一人ポラロイドカメラで現場の写真を撮ったり、質問をしたりして、みんなが積極的に活動しました。

トピックス つづき

平成14年10月30日付けで、「**松川砂防出張所敷地造成工事**」の契約が締結されました。いよいよ、本格的に新庁舎の工事が始まります。



前号より引き続き

《行ってみよう企画》 米沢街道 - 板谷峠 -

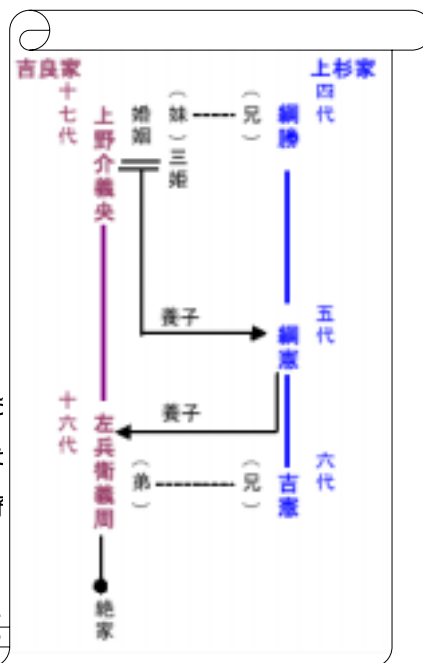
2002年もそろそろ暮れにさしかかってきました。

暮れといえば思い出すのが忠臣蔵の討ち入り！！

松の廊下の刀傷事件の後、藩の金を持ち逃げし脱藩したとされ、忠臣蔵では不忠者の悪役。京都で不遇のうちに死亡したといわれる、**赤穂藩家老 大野九郎兵衛の供養碑**が、板谷峠にあります。



吉良上野介の妻 三姫（参姫）は、米沢藩上杉家より輿入れしてお上杉家では、上野介と三姫の長男 綱憲を世継ぎに迎えていました。そのため、討ち入りが失敗した場合、上野介は米沢に逃亡すると予大野九郎兵衛らが第2陣として板谷峠で待ち伏せしていましたが、討ち入りが成功したと判り、主君の後を追ひ、この地で切腹した.. という伝説が、残っているのです。



米沢藩上杉家と吉良家は、縁が深いので、米沢では、吉良びいきの人が多そうです。

板谷峠の石畳



板谷峠は、安土桃山時代に開かれましたが、最も栄えた江戸時代には伊勢参りの人や商人など、1日に50人程の通行があったといわれます。米沢藩の参勤交代にも使われていたので、かの有名な上杉鷹山も通ったかもしれません。少しでも歩きやすいように石畳が作られたのでしょう。ここまで石を運ぶのも大変だったと思います。

よってがんしょ！ 松川砂防出張所へ

お気づきの点や知りたいことなど、お気軽にどうぞ！

発行：国土交通省 東北地方整備局

福島工事事務所 松川砂防出張所

〒960-2261 福島市町庭坂字遠原三8-1

TEL 024-591-1207 FAX 024-591-5527

福島工事事務所ホームページ

<http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>

